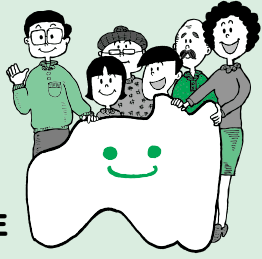


きらり健康生活協同組合



2026年

8月号

いのちの炎

〒960-8055 福島市野田町1丁目15番12号
TEL 024-531-6262 FAX 024-531-6333
URL <https://www.kirari-hcoop.com/>
e-mail seikyou@kirari-hcoop.com

●発行人／専務理事 橋本 一弘
●編集人／「いのちの炎」編集委員会



(スマートフォン専用)



生協の現況

2026年6月30日現在

★組合員数………19,983名
★出資総額………608,317,000円
★一人平均出資額………30,441円

第五十五回
通常総代会報告

六月二十一日(日)「パルセイイざか」(飯坂町)にて、第五十五回通常総代会を開催しました。総代定数百七十四名中百六十七名の出席(本人出席百二、書面議決六十五)を確認し、議長に佐藤総代(三河台西支部)と鈴木総代(飯坂支部)を選出して議事がすすめられました。

来賓

福島市保健所所長の吉成勇一郎様、福島県生活協同組合連合会会長理事の佐藤一夫様にあいさつを頂戴しました。また、来賓には、社会福祉法人すこやか福祉会理事長の佐藤進也様、有限会社福島中央市民すこやかサービスセンター代表取締役社長の遠藤一様に臨席いただきました。

議事

- ・第一号議案「二〇二五年度事業報告及び決算報告・剰余金処分案並びに監査報告の件」
- ・第二号議案「二〇二六年度事業計画及び予算案の件」
- ・第三号議案「役員選任の件」
- ・第四号議案「役員退任慰労金支給の件」
- ・第五号議案「役員報酬決定の件」
- ・第六号議案「議案決議効力発生の件」

総代の皆さんからの
質問・報告・意見

●発言者は割愛しています。

「杉妻支部」

・医療・介護関係は、どこも厳しいとの話があったが、

そこで思考をストップさせず、次に繰り出す自分たちの考え方・方針を出さなければ、本当にダメになってしまうのではないかと。私は、一般の医療機関にはない、困難を乗り越える力を持っているはずである。私たちの力を最大限に活用し、一致団結して進むための具体的、かつ、きめ細やかな方針を、文言として提示していただきたい。また、きらり健康生協がなくなれば、支部活動もできなくなり、職員の生活も立ち行かなくなる。それほど重大なことなのだという認識を、支部も含めて共有すべきである。意思疎通を密にし、最優先して取り組んでいただきたい。

・当期は特別利益によってかろうじて黒字になっている。昨年末、職員の期末手当が〇・五か月カットされたがこの削減総額はいくらかだったのか。一方で、役員報酬は削られなかったとのことだが、本当に生協の危機であるならば、役員も身を削るなどして、職員と同じ痛みを分かち合うべきではなかったか。そうした姿勢を示すことで、役員と職

員は同じ仲間であるという意思疎通をしつかり図っていただきたい。

・リハシユレを上松川でも展開することだが、この事業の収支について、明確な回答をお願いしたい。大きな拠点で確実に黒字を確保できるよう、各事業所の詳細な経営分析をきちんと行っていたいただきたい。

・昨年も申し上げたが、理事会の中に「経営委員会」と「医療介護委員会」を設置し、理事会全体で危機感を共有していく時期にきていると考える。理事会が単なる報告会になっているのではないかとという懸念も耳にしている。他生協における理事会の運営実態がどうなっているのか、分かる範囲で教えてほしい。

・財務担当について、次の世代を育てる視点からも、特定の診療所の手を離れ、独立した担当者専任で配置すべきではないか。

・機関紙に連載されている「私がきらり健康生活協同組合に夢中になる理由」について、表現や語尾の文言が大変気になっている。です・ます調がほとんどなく、丁寧な文章になっていない。全国に出している生協の機関紙として、このような表現で本当に良いのか。



(二面に続きます。)

原稿の点検はされているのか、編集委員会の見解を伺いたい。

・昨年もお話しした「とやのクリニック」の臨床検査技師が無配置になっている件について、本部に赴き、橋本専務理事と意見交換をさせていただいた。その後、二回にわたり、郵送で要請書をお送りしたが、何の音沙汰もない。こうした不誠実な対応は、何らかの力が働いているのではないかと。このが率直な感想である。こうした不健全な運営や疑念を払しょくするためにも、身内びいきやグループ化をせず、開かれたきらり健康生協を構築すべきだと考える。

・医療事業部長・介護事業部長の具体的な職務内容について、それぞれ明らかにしてほしい。

理事長あいさつ

きらり健康生活協同組合

理事長 木村 公



昨年度は、地域組合員の皆さまの利用結集並びに全職員の努力の結果、三年ぶりに黒字決算で終わることが出来ました。

組合員のみなさまにおかれましては、きらり健康生活協同組合創設から現在も引き続き、支部活動やボランティア活動など頑張ってもらっている組合員さんがたくさんいらっしゃいます。心より感謝申し上げます。

また、二十六年ぶりにきらり健康生協三十番目の支部「松川支部」が誕生しました。嬉しい話題の一方、組合員数は高齢化や人口減少などの影響により、二万人を下回り、出資金総額の減少も避けられない状況になっております。

組織と事業を将来につなぐために、昨年から五十代、六十代の女性の体操教室「リアン」や子育てサロン「とやのんクラブ」など、若い世代を取り込む企画を継続しているところです。

医師確保に関しては、須川診療所と上松川診療所に、福島県立医科大学病院の総合内科、総合診療学講座に所属する総合診療科を目指す専攻医が二名着任しました。一年間ではあります。が常勤で診療して頂いております。ぜひ組合員のみなさまの温かい、声掛けをお願いいたします。

今年の春、東京電力福島第一原子力発電所に近い国道六号線を通りました。浪江町の中心地は、道の駅が出来、きれいな街並みになっていました。しかし、いわき方面に向かい双葉町に進むと、国道六号線からは脇道に入られないよう、十五年経った現在もバリケードが設置してあることに驚きました。廃炉作業は三十年で終わらせると言っていました。すでに十五年が経ち、燃料デブリも取り出せない状況です。そんな中、原子力発電所が再稼働するなど、福島事故が忘れ去られようとしています。私たちは当事者としてこれからも引き続き脱原発を訴えていく必要があるのではないかと思います。

私たち医療生協は、命と健康を守ることを何よりの使命として活動しております。核の存在は人類の健康と生存に対する最大の脅威だと思います。ひとたび事故が起き、また兵器として使用されれば、尊い命が奪われるだけでなく、放射線による健康被害や環境破壊をもたらします。健康に携わる、私たちだからこそ、この現実に向き合い、「核のない世界」と「戦争のない世界」の現実を、願い続ける責任があると考えております。

きらり健康生協の理念である「いのち輝く明日のために、健康づくり、仲間づくり、まちづくり、みんなで作る、みんなの安心」を基に、今後も地域のみなさまと共に命の尊厳を大切にしながら、だれもが安心して暮らせる社会づくりを目指して行きたいと思っております。

引き続きみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げ、総会の挨拶といたします。

(一面の続きです。)

理事会からの答弁

総代の皆さんからの質問や意見に対し、橋本専務理事より、次のような答弁がありました。

「困難を乗り越えるための方針について」

・おっしゃる通り、生協運営の最も強固な基盤は、職員と組合員の力である。私が入協した頃と比べると、職員数は約十倍に増え、約二十の事業所を運営するまでに発展している。組合員の数も大きく伸びた。この十四年間の発展は、まさに組合員の皆さまと職員が、より良い生活を求め、力を合わせていこうという情熱をもって取り組んできた成果である。今後、ただ社会情勢が厳しくなったとしても、このつながりがある限り、私たちは必ず乗り越えていけると確信している。これからもこの基盤を一層強固にしていきたい。

「職員の賞与削減と役員報酬について」

・職員の冬の一時金の約四千万円の縮小について、十一月の労使交渉の時点で、そのままいくと約一億円の赤字になる見込みであった。三年連続の赤字になると、銀行からの融資利率の上昇や、借入れのストップなど、生協の存続に関わる危機に発展する恐れがあった。大変心苦しい決断であったが、職員の皆さまにご協力をいただいた。そのほか、養老保険の解約により、約三千万円の収入を確保し、年度後半における各事業所の懸命な努力と、組合員の皆さまの利用結果によってカバーされ、黒字化を達成できた。役員報酬の

減額については、法的な決まりにより、期の途中で変更が出来ず、職員の皆さまと同様の減額の対応ができなかった。これについては、今年度の役員報酬の中でしっかりと反映させる方向で進めていきたい。

「リハシユールについて」

・リハシユールの中身は、「医療報酬」「介護報酬」「組合員活動」の大きく三つの性質に分かれており、医療・介護報酬を得ながら行うリハシユールについては、年間予算をしっかりとクリアしている状況である。組合員活動の一環として行うセラバンド体操などは、組合員の皆さまの健康づくりの場として行っているため、年間予算という組み立て自体をしていない。こちらは「収入」ではなく、参加される方の人数や頻度といった「活動の広がり」を評価軸として捉えている。

「理事会専門委員会について」

・昨年もご提案いただいた経営委員会の立ち上げについては、非常に重要な視点として受け止めている。現在、業務機構図を変更し、理事会内だけではなく、各事業所の管理者・事務長集団を中心とした「経営をしっかりとチェックする場」を構築している。その一つの事務長会議では、それぞれの事業運営の収支や課題について、日々詳細に検討をさせていただいている。

「財務担当について」

・理事会内の財務担当については、本日報告をした八巻理事が、生協全体の財務担当理事としての役割を担っている。毎月の理事会でも全体報告を行っているが、人材を育てるという意味も含め、現在は勉強もかね

て、この大役を担ってもらっている。

「機関紙いのちの炎について」

・私は編集委員会の編集長を務めており、毎月、発行前の校正に目を通した上で、発行を承認している。読む人によって失礼に聞こえるのではないかとというご意見に対し、真摯に受け止めている。自身の配慮が足りなかった部分がなかったか、深く反省し、今後の考え方を見直していく必要があると感じている。一方で、できるだけ多くの世代の方に親しんでいただきたいと考え、堅苦しい表現を避け、分かりやすく、より身近に感じられる表現を重視している側面もある。例えば、七月号では、実の父親の記事を顔写真付きで掲載させていただいた。迷いや葛藤はあったが、同じように介護で苦しめられている組合員やご家族の皆さまに、少しでも寄り添い、ためになればという想いから、あえて紹介に踏み切った。このように、様々な視点や見解がある中で、試行錯誤しながら記事を展開している。今後とも率直にご意見をいただきたい。

「要請書への返答について」

・面談の際に、私としては一定の回答をお伝えしたつもりでいたが、いただいたお手紙に対し、結果的にご無沙汰してしまい、ご無礼をいたしましたことを深くお詫びしたい。決して裏で不当な意図が働いた訳ではなく、私個人の判断の遅れにより、ご不快な思いをさせてしまった。今

後は、このような失礼がないよう、誠実に対応させていただきたい。

「医療事業部長・介護事業部長について」

・新たな業務機構図で、医療事業部長と介護事業部長を新設した。さらに健康生協の事業は、おおきく「医療」と「介護」の二つに分かれている。現場では多くの職員や管理者が関わっているが、「自分たちの事業所だけの判断では決めかねる問題」や「他事業所ともっと密に連携して運営していきたい」という課題が大きくなっていた。そこで、多くの管理者が孤立せず、医療事業・介護事業それぞれの連携や統括を責任もってスムーズに進められるようにする立場として、この二つの部長職を配置した。組織としての意思決定や連携をより円滑にするための変更になる。

採決

採決の結果、第一号議案は賛成多数、第二号から第六号議案は満場一致により、それぞれ承認可決されました。



▲エントランスに500号を迎えた「いのちの炎」のバックナンバー等を掲示しました

新理事紹介



安達義乃武

この度、理事に選任された安達義乃武です。二十五年振りに九州から福岡にUターンし、数年前に組合員に復活したばかりで、さらに健康生協活動を十分に把握できていません。

この任期中で、生協活動をより理解し、組合員や職員の皆さまのために、少しでもお役に立ちたいと思います。よろしく願いします。



大條 信人

この度、理事に選任されました大條信人と申しました。すこやかのリ特別養護老人ホーム・ショートステイの施設長をしております。福祉に携わる者として、さらに健康生活協同組合の活動に微力ながら貢献できるよう努めて参りたいと思いますので、ご指導、ご助言のほどどうぞよろしくお願いいたします。



斎藤 功

この度理事に選任頂いた斎藤功です。(社)シャローム福祉会就労継続支援B型まちなか夢工房で管理者をしております。マルシェ等を通じ皆様にはお世話になり感謝申し上げます。皆様と一緒に、だれもが暮らしやすい街づくりを共創できるように、微力ながら尽力させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



鈴木由美子

このたび理事に選任されました鈴木由美子と申します。杉妻支部の運営委員として活動しております。今後は諸先輩の皆さまにご指導頂きながら地域や組合の皆さまの健康づくりのために、微力ながらお手伝いできればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



佐藤 高広

九年前、組合員だった母が亡くなり、継承する形で組合員になりました。三月で四十四年間の公務員生活を終え、地域のために何かできればと思っていました。組合員、職員の皆さまのお役に立てるよう活動が出来ればと思います。どうぞよろしくお願い致します。



竹之下道子

理事に選任されました竹之下道子です。約十年間にわたる自宅での夫の介護で須川診療所の皆さまにお世話になりました。難病・重病の夫も最後まで生きる希望を持ち続け、命輝いて昇天しました。この経験を生かし、さらに健康生活協同組合のために微力ですがお役に立ちたいと思います。

被ばく健康相談のお知らせ

専門の先生をお呼びして、被ばくに関する健康相談を実施しています。毎日の生活に不安を抱えている方、ぜひ、お申込みください。

日時

※日程は調整致します。

ところ

本部健康の家2階
(野田町1丁目15-12)

料金

無料

申込先

☎531-6262

振津かつみ 先生

・兵庫県西宮市在住
・兵庫医科大学遺伝学教室非常勤講師(放射線基礎医学)

私が「きらり健康生活協同組合」に
夢中になる理由

理事 作業療法士
平野 聖子

第8回

後期研修のテーマは、生協四課題「①仲間ふやし、②出資金ふやし、③活動（班会）づくり、④担い手づくり」この四つを、どうすれば相手の心に届く言葉で伝えられるのか。そんな問いを胸に、「お誘いマニュアル」を作成し、実際の場面を想定しながら行うロールプレイでは、職員としてどんな声掛けができるのか意見を出し合った。

話し合いを重ねていくと、もつと根本的な問いが浮かんでくる。「私たち職員組合員は、きらり健康生協をどれほど理解し、どんな風に自分ごととして活動しているのだろうか。」と。

活動に誘うためには、「事業所のおすすめポイント」や「支部・班活動の魅力」、そして「きらりとつながることのできる安心」を、自分の言葉で語れるかどうかが鍵になる。

出資金を増やす取り組みでは、組合員さんをお願いするだけではなく、理事会としても出資金の意義や年度の純増額をしっかりと理解していることが欠かせない。

さらに、班会の現状を把握し、拡大に向けてどんな一歩が踏み出せるのか。「担

い手がいらない」と嘆くだけでなく、その課題を声に出し、本気で探そうとしているか。その姿勢も問われていることを学んだ。

自分の暮らしと、きらり健康生協の目指すものがどこでつながっているのか。そんな根っこを見つめ直したうえで、「お誘いマニュアル」は形になっていった。

「マニュアルのポイント」

- ①仲間ふやし
身近な人に組合員になってもらう
- その人の生活背景を理解する
- 加入のメリットを分かりやすく伝える
- 私たちと「つながってほしい」という気持ちを込める
- ②出資金ふやし
出資は事業所をより快適にする力になる
- 寄付ではなく、未来の自分への投資であると伝える
- 職員も積極的に地域に出て応援者を増やす
- ③活動（班会）づくり
理事・職員・組合員が一緒に行動する
- 班活動は孤立を防ぎ、地域を元気にすることを知ってもらう
- ④担い手づくり

・医療生協を理解してくれる人を見極める
・力を貸してほしい」という思いを伝える



ロールプレイで実際に言葉交わすと、気持ちのこもった言葉は不思議と心に届く。相手にその気になってもらうには、技術だけではなく、笑顔や誠実さといった、日々の姿勢がにじみ出るものだと感じた。初対面の人にも、長く付き合っている人にも、同じように伝わる温度がある。そんなことを実感できた、とても貴重な時間だった。

研修後の夕食は、南医療生協の組合員さん手作りの料理とお弁当を囲む、あたたかな宴となり、おいしいご飯を味わいながら、前後期の研修を振り返り、きらり健康生協にどう活かしていくか、自分のなかで思いが静かに深まっていた。

まちづくり委員会より

ちよいボラ・
ア・ラ・カルト④

これまで「まちづくり委員会」では、地域で広がる「ちよいボラ」の取り組みを紹介してきました。今回は、巷ではどのような「ちよいボラ」が行われているのか、自分たちにも取り組めるヒントがないかを調べましたので、ご紹介します。

「ちよいボラ」とは、日常の延長でできる、ちょっとした支え合いをキーワード

にした活動です。大がかりな準備は必要なく、一時間だけ、一回だけといった「ちよいボラ」でできる地域貢献として、全国に広がっています。

実際に行われている「ちよいボラ」の例

【生活系】
料理のおすそ分け／散歩中の地域見守り／買い物の御用聞き／お隣さんの雪か

き・ゴミ出し

【スキル活用系】

スマホ操作のサポート
／地元の案内／イベント運営の手伝い／施設訪問での歌や踊りの披露

【環境系】

公園の花壇の手入れ／道端のゴミ拾い

こうした具体例を見てみると、「あれ、これまで自分がやってきたことも、ちよいボラなのかな？」と感じる方もいるかもしれません。

自分の好きなことや得意なことを活かした活動も、立派なちよいボラになります。

日常の中のちょっとした助け合いが、持続可能な地域づくりにつながっています。そして、誰かの役に立っているかもしれない自分自身は、きつと少し輝いて見えるはずです。

さあ、みなさんも、できることから始めてみませんか？

まちづくり委員会より発信してきたこのコラムは、委員会メンバーの入れ替えに伴い、今回をもって最終回とさせていただきます。これまでご愛読いただき、ありがとうございました。いつかまた、どこかのページでお会いできますように……。

鈴木さんの

北海道温泉日記④

羅臼町の町から岬に二十数キロ行くと相泊という地があります。そこが車の行き止まりです。実際はそこに番屋があり、漁師は車で入っています。その港で毎年のように釣りをしています。最初のころ、先客がいて全然釣れないとのことでした。どこから来たのか聞かれたので福島だと言ったら「俺も福島にいたことがある。福島刑務所だけど」と言われ「うっ」と思いましたが、そのまま帰っていききました。その後

私たちは大漁で羅臼に行けば必ずそこで釣りをしているのが定番になりました。東日本大震災のあとにいつものように相泊で釣りをしていた時、町のスピーカーから「津波が来るので高台へ避難してください」とアナウンスがありました。帰る道はすべて海辺。山に入ればヒゲマの恐れがありどうしようもない状況になりました。しかし漁師は平然と船を出して



▲作者 鈴木さん

お詫び

7月号「診療所 夏期休診のお知らせ」において、以下の間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) せのうえ健康クリニック 8月12日(水) 18時まで受付

(正) せのうえ健康クリニック 8月12日(水) 12時まで受付

知っておきたい 「がん検診の基本」



現在わが国のがんによる死亡者数は年間三八万人を超え、死亡原因の第二位です。

日本人が一生のうちにがん と診断される確率は、男性六一・一％（二人に一人以上）女性五〇・一％（二人に一人）日本人ががんで死亡する確率は、男性二四・四％（四人に一人）女性一七・一％（六人に一人）

となっており、がんは誰にとっても身近な疾患となりました。福島市でも市民検診がスタートしています。がん検診に関する理解を深め、正しい知識を持って受診しましょう。

市町村では科学的根拠が確立した検診を行っています

これまでの研究によって、胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの五つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明されています。（表１）

がん検診の利益

がん検診の主な利益は、がんによる死亡を防ぐことです。早期発見により治療が軽度ですむこと、検診で「異常なし」と診断されることで安心して生活できることも利益です。

がん検診の不利益

がん検診の主な不利益は、偽陰性、偽陽性、過剰診断、偶発症です。

偽陰性 実際にはがんがあるのに、精密検査が不要と判定されることです。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんので、適切な間隔で定期的な受け続けることが大事です。

偽陽性 実際にはがんがないのに、がんの疑いありと判定されることです。それにより、本来受ける必要のない精密検査等で心身に負担がかかってしまうこともあります。

過剰診断 成長スピードが極めて遅いなど、治療をしなくても寿命に影響のないがんを検診で発見することです。本来不要な治療により、身体的、心理的、経済的負担がかかります。

偶発症 検診や精密検査での医療行為による合併症です。内視鏡による出血や穿孔、バリウムの誤嚥や腸

閉塞、放射線被ばくなどがあります。不利益の方が多く感じてしまうかもしれませんが、国が推奨する五つのがん検診は、利益が不利益を上回る検診だということが証明されています。胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんは早期発見で九〇％以上、肺がんは八〇％以上が治ります。がん検診を正しく理解し、ご自身の健康管理に役立てましょう。次回は二〇二五年度にさらに健康生活協同組合でがん検診を受診された方の結果をお知らせいたします。

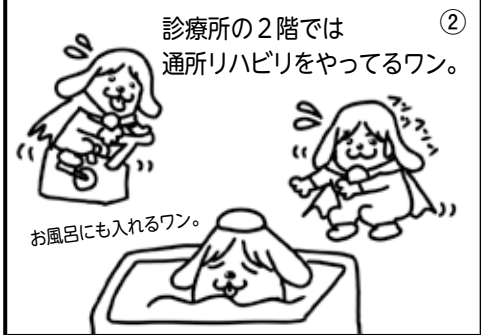
種類	検査項目	対象年齢	受診間隔
胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30歳以上 ※市区町村で実施する検査項目をご確認ください。	2年に1回
	問診、視診及び HPV 検査単独法		5年に1回 ※罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問（問診）、胸部エックス線検査	40歳以上	年1回
乳がん	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

表 1：国が推奨するがん検診の一覧（厚生労働省 HP より）

それいけ！ スカワンレンジャー



① こんにちは。
ボクは
スカワブルー
だワン。
さいきん診療所の
2階にお引っ越し
したワン。



② 診療所の2階では
通所リハビリをやってるワン。
お風呂にも入れるワン。



③ あ—— お風呂って
気持ちイワンね——…



④ ちょっと!! 入りすぎだワン!!
のぼせてるワン!! しっかりして!!
*デイケアではこの様な事は
ありません。
ご安心を!

にじいろフェスタ

今年も元気に 開催するよ!

日時 9月13日(日) 9:00~13:00

場所 老人保健施設にじのまち 及び
上松川診療所

- ★楽しい企画満載!!
- ★スタンプラリーでもれなく商品ゲット
- ★ミニステージでは楽しい演目がたくさん
- ★見るだけじゃなく、たくさん体験して
- ★屋台の美味しいお食事で胃袋も満足!

ワクワクが止まらない!
さあ みんな準備は良いかな?



にじいろフェスタ2026

ミニステージ
焼きそば
やきとり
健康チェック

キラリ
つながる
広がる
笑顔

日時 2026年 9月13日(日)
場所 老人保健施設にじのまち
上松川診療所 9:00~13:00



第174期 保健大学 「須川・とやの教室」

- 横山 寿昭さん
- 大橋 道子さん
- 半沢 やすさん
- 荒井 公子さん
- 村上 恭司さん
- 梅津 マチさん
- 紺野 典子さん
- 吉田 史佳さん
- 阿久津 亮子さん
- 倉嶋 涼楓さん

新しい保健委員が 誕生しました!